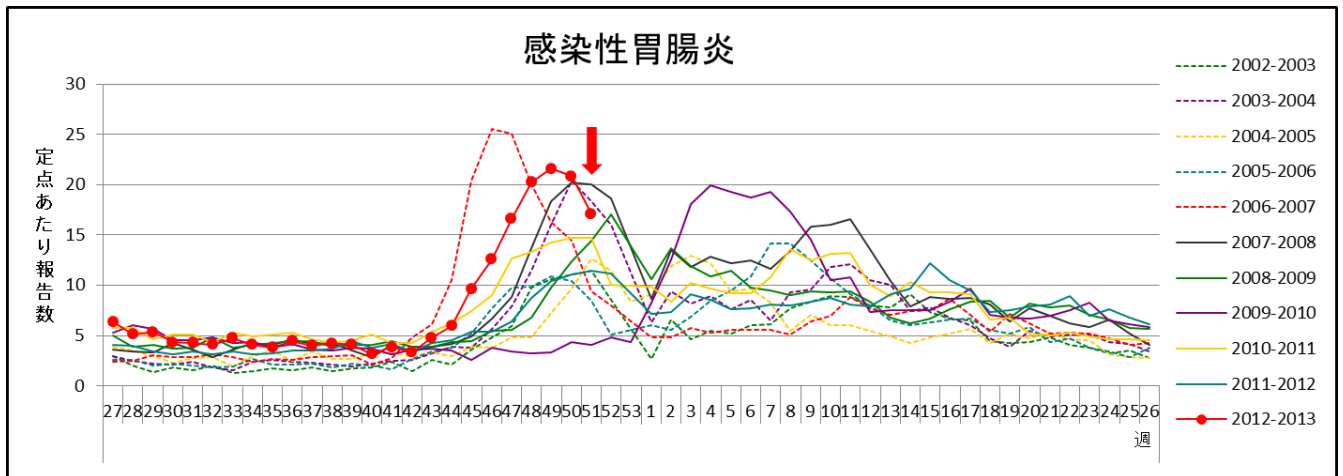


感染性胃腸炎情報 2012 年 第 51 週 (12 月 17 日 ~ 12 月 23 日)

【お知らせ】次週、2012 年第 52 週 (12/24~12/30) の感染性胃腸炎情報は、平成 25 年 1 月 10 日 (木) にホームページに掲載いたします。

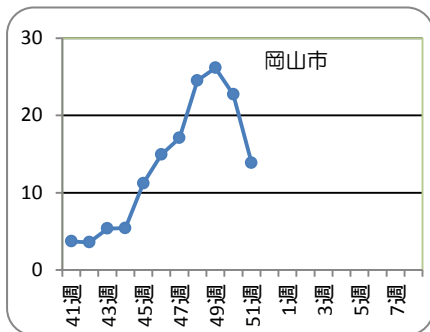
- 岡山県内の患者報告数は 924 名 (定点あたり 17.11 人) であり、前週より減少しました。(54 定点医療機関報告)
- 県全体での発生レベルはレベル 3 が継続し、地域別では真庭地域が新たにレベル 3 になり、岡山市、倉敷市、備前地域、美作地域でレベル 3 が継続しています。



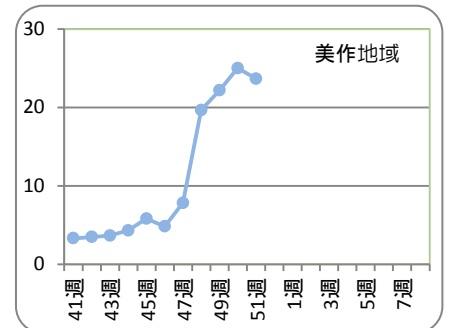
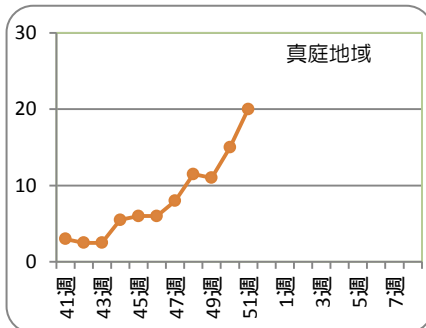
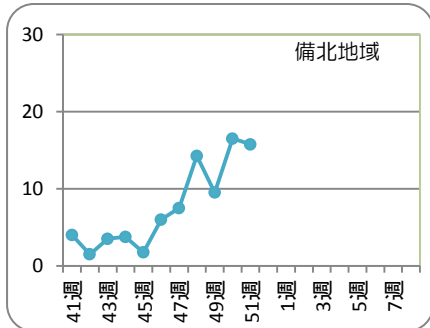
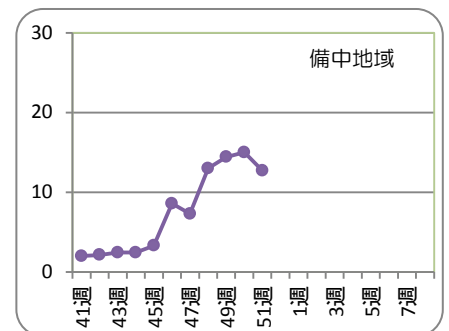
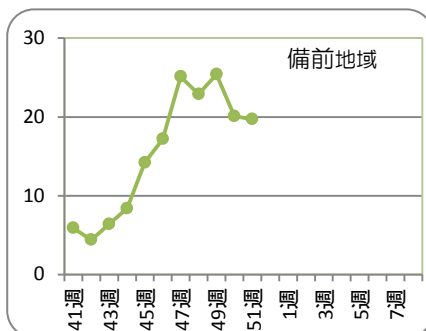
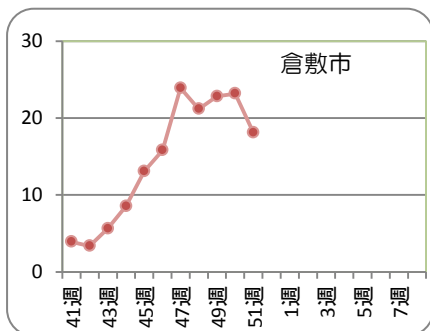
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

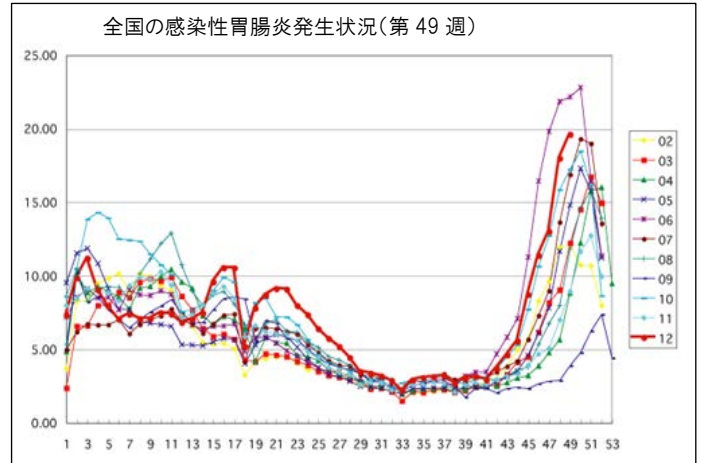
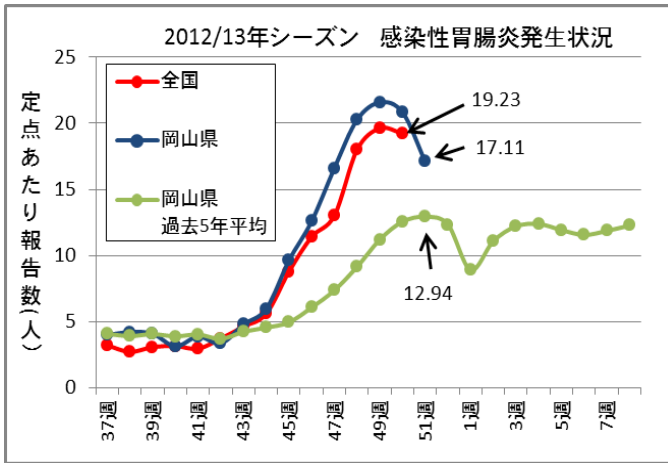
感染性胃腸炎は、県全体では減少しましたが (定点あたり 20.83 → 17.11 人)、依然として流行がつづいています。地域別では、真庭地域 (20.00 人) が定点あたり 20.00 人を越え、新たに発生レベル 3 になり、岡山市 (13.86 人)、倉敷市 (18.09 人)、備前地域 (19.70 人)、美作地域 (23.67 人) で発生レベル 3 が継続しています*。2 週つづけて減少したものの、依然として患者が多い状態であり、医療機関や社会福祉施設では、ノロウイルス等を原因とする感染性胃腸炎の集団感染が大変懸念されます。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。(※: 感染性胃腸炎は、発生レベル 3 の開始基準 20.00 人を一度越えると、終息基準値 12.00 人より下がらないとレベル 3 は解除されません。)

◆地域別・年齢別発生状況



年齢別では、5 歳以下の幼児で 48% を占めています。また、20 歳以上の割合も 16% から 18% に増加しており、乳幼児、小児だけでなく、成人にも感染が拡大しています。通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



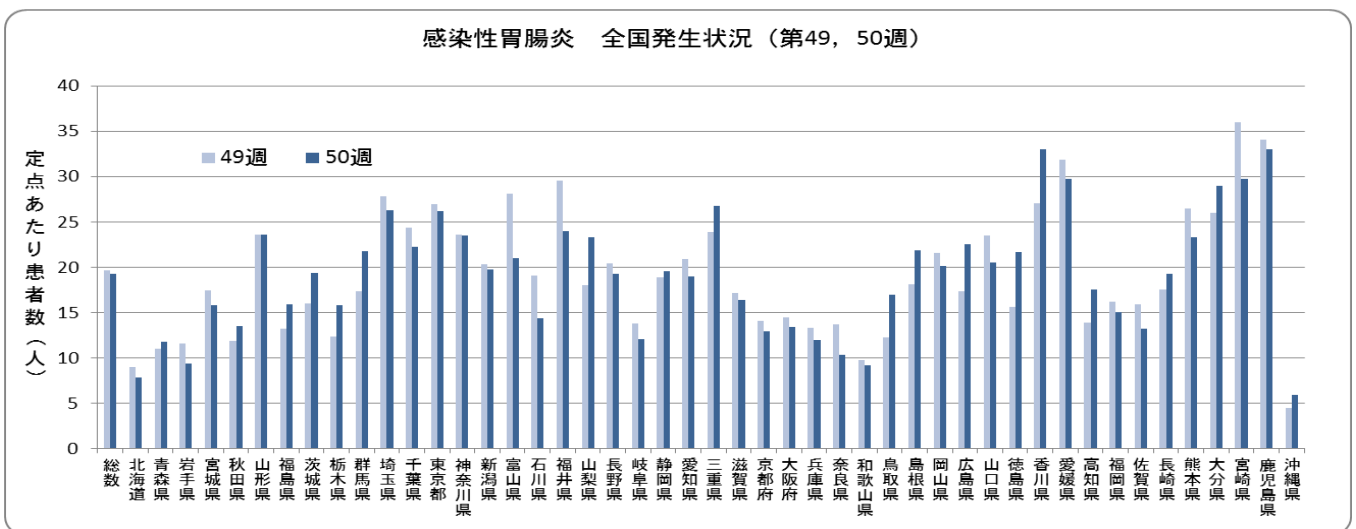


(国立感染症研究所HPより)

この時期の感染性胃腸炎の主な原因であるノロウイルスの感染予防は、流水・石けんによる手洗いの励行と、吐物や下痢便の適切な処理を行うことが極めて重要です。排便後や、調理・食事の前には手洗いを励行しましょう。吐物や下痢便を処理するときは、使い捨ての手袋やエプロンを使用し、処理する人自身が感染しないよう気をつけ、また、他へ感染を広げないよう気をつけましょう。消毒には塩素系漂白剤を使用し、広い範囲を消毒して下さい。

アルコールは消毒効果が低いとされています。また、拭き取りに使った布などはただちにゴミ袋に入れ密閉し、廃棄してください。[○ノロウイルスに関するQ&Aについて\(厚生労働省\)](#)

[○注意！この冬はノロウイルスに注意しましょう。\(厚生労働省\)](#)



【医療機関などの方へ】

◆ノロウイルスに関する院内感染事案の報告等に関する事務連絡が厚生労働省から発出されました。

(平成24年12月25日)

全国では、院内感染によるノロウイルスの集団感染事例や患者の死亡事案が散見されています。厚生労働省では平成24年12月25日付で、ノロウイルスに関する院内感染事案の報告等に関する事務連絡が発出され、さらなる感染予防対策に努めるよう注意喚起を行っています。

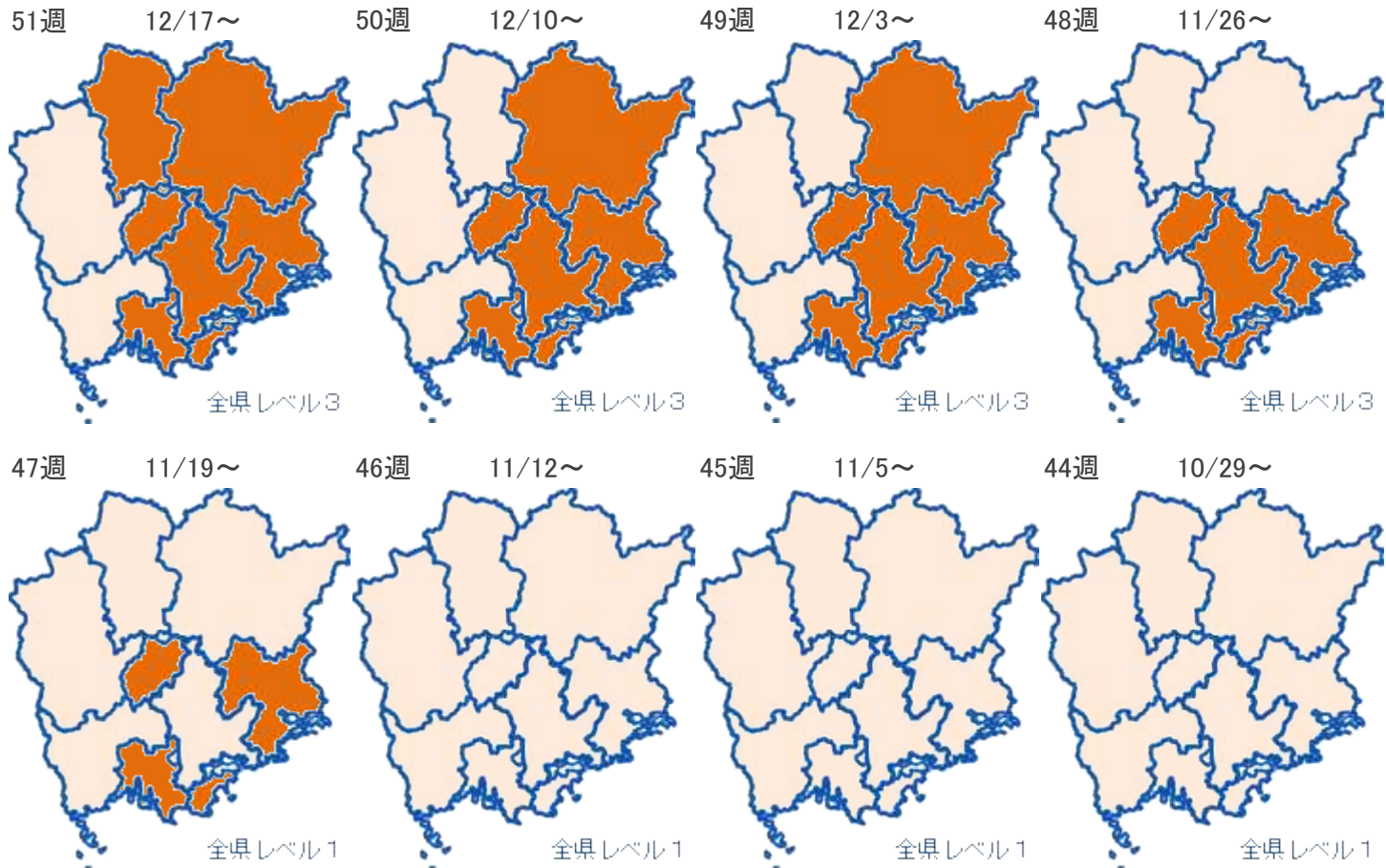
- さらなる手洗いの徹底や、糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策をお願いします。
- 院内感染によるノロウイルスの集団感染を疑う場合や、院内感染との因果関係が否定できない死亡事例が発生した場合は、速やかに管轄保健所に報告し、支援を受けるようお願いします。



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2012年 51週

2012年12月26日

11:45:27



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。